

令和3年度(2021年度)全国学力学習状況調査結果概要

千早赤阪村立赤阪小学校



国語

- 平均正答率は、全国及び大阪府の平均値を少し下回っている。
- 話すこと、聞くこと、読むことについては、全国平均を上回る正答率のものもあった。
- 文章構成や展開を考える、書くことについては課題がある。
- 無解答率が高い問題もあった。

今後の対策

- いろいろな場面や条件に合わせて読み取ったり、書いたりすることを授業で効果的に取り入れる。
- 読解力定着を意識した授業作りのための研修を実施。授業でも、5分間のプリント学習で継続的に取り組む。



- 早寝・早起き、朝食をとるなどは、いい習慣が定着している児童が多い。
- 人が困っている時は進んで助ける、人の役に立つ人間になりたい、友達の協力するのは楽しいということに肯定的な児童が多い。
- 自分の考えが伝わるよう、授業の中で、工夫して発表できているという児童が多い。



- 平日のゲーム時間が1～3時間くらいという児童がほとんど。
- 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦することには消極的な傾向がある。
- 地域や社会をより良くするために考えるや機会がやや少ない。

算数

- 平均正答率は、全国及び大阪府平均とほぼ同じ。
- 表の整理の問題は得意。
- 答えが1より小さくなるわり算が苦手傾向。
- 問題後半になっていくと、正答率が下がる。スピーディーな対応、粘り強さの点でも課題がある。

今後の対策

- 示された課題や式などの意味を読解できることを意識した授業作り。
- 2学期末に実施の校内「まめテスト」で、改善が見られるか検証。